



知覧特攻平和会館（南九州市）



鹿屋航空基地史料館（鹿屋市）



出水市戦跡（出水市）



知覧特攻平和会館（南九州市）

万世特攻平和祈念館（南さつま市）

鹿屋航空基地史料館（鹿屋市）

戦争の歴史や戦時下の状況を理解し、その悲惨さや命の尊さを学ぶ

県内各地に残された特攻隊の歴史に触れる

鹿児島県には特攻隊員の資料などを展示する3つの施設があるほか、各地に多数の戦跡が残っており、ガイドと共に戦跡を巡るプログラムも用意されている。砂利などが混ざられたコンクリートからは、当時の切迫した状況が偲ばれる。自然の中にひっそりと残る戦跡から戦時中の状況を想像し、平和について考えよう。



万世特攻平和祈念館（南さつま市）

見て・感じて学び、自分の心で考える

学びのポイント

- 基地はいつあったの？
- なぜ、戦跡が多く残ってるの？
- ゼロ戦は、どうして生まれたの？
- なぜ、特攻隊ができたの？
- 少年たちが家族にあてた手紙
- 語り部による戦争の記憶



隊員直筆の手紙（鹿屋市）

学習のテーマ

太平洋戦争末期、本土防衛の最前線となった地で戦争遺跡や資料館を訪れて戦時下の状況にふれ、平和と命の尊さについて学ぶ

太平洋戦争末期、日本各地に基地や飛行場をはじめ軍事施設が数多く造られた。これらの軍事施設は一部特攻隊の基地として使用され、鹿児島県内の各基地からも多くの特攻隊員が南の空へ飛び立って行った。戦争の最前線に立たされた同年代の若者が残した家族への手紙を読み、講話に耳を傾け平和の尊さを学ぶ。



学習の流れ

事前学習



- 平和や戦争について、自分の考えをまとめよう
- 戦時中の生活の様子について調べよう
- 特別攻撃隊について調べよう
- 戦争に関する映像資料を参考にして、戦争について考えよう

現地学習



- ガイド（語り部）さんの話や、自分で見たことや感じたこと、考えたことを記録しておこう
- 施設や戦跡めぐりで戦争や平和について学ぼう

事後学習



- 自分がこの時代生きていたらどう思うか、現代や未来はどうあるべきか、自分の意見をまとめよう



平和学習

薩摩半島の 平和学習プログラム

南九州市

南さつま市

出水市

南九州市

死を間近にした特攻隊員が、
大切な人にあて残した言葉に触れ、命について考える



知覧特攻平和会館

平和と命の尊さを考える

知覧特攻平和会館では、陸軍沖縄戦で特攻戦死された1036人の特攻隊員らの遺品や資料を展示。戦争の最前線に立つこととなった同年代の若者が残した家族への手紙を読み、講話に耳を傾け平和と命の尊さを学ぶ。

- 受入人数：受入制限なし
- 受入期間：通年
- 所要時間：講話30分・自由見学60分
- 受入時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
- 料金：大人500円・小中学生300円
（団体30人以上：大人400円・小中学生240円）
※小中高校生の教育旅行は人数に関わらず団体割引
- 対象：小・中・高校生

南九州市知覧町17881
☎ Tel.0993-83-2525 Fax.0993-83-4859



知覧戦跡巡り

ガイドと共に戦争遺跡を歩き、戦争・平和について考える

知覧には、今もなお当時を偲ぶ歴史的価値の高い貴重な戦争遺跡が散在しており、平成24年から受入開始したガイド付き戦跡巡りは、館内見学と併用して平和学習に取り入れる学校が増加している。コースは、知覧特攻平和会館周辺散策コース（徒歩）や知覧飛行場跡周辺コース（バス）の2つがある。

- 受入人数：100人（徒歩の場合）・8台（バスの場合）
- 受入期間：通年
- 所要時間：40～60分（調整可）
- 料金：無料
- 対象：小・中・高校生
- ☎ Tel.0993-83-2511（南九州市商工観光課）



ホテル館 富屋食堂

「特攻の母」と慕われたトメさんと隊員との交流の遺品や写真を展示

富屋食堂は特攻隊員らに母と慕われた鳥浜トメさんの食堂。当時の食堂を再現した資料館の遺品や写真を通じてトメさんの生涯と特攻隊員とのふれあいに思いを馳せ、命の尊さに触れる。



- 南九州市知覧町103-1
- 受入人数：50人
- 受入期間：通年
- 所要時間：30分
- 受入時間：10:00～17:00
- 料金：大人500円・小中学生300円
（団体30人以上：大人400円・小中学生240円）
- 対象：中・高校生
- ☎ Tel.0993-58-7566 Fax.0993-58-7565

歴史・文化学習

知覧武家屋敷庭園群

薩摩の小京都 知覧の武家屋敷をめぐり、
薩摩独自の外城制度を学ぶ

江戸時代、薩摩藩は外敵からの攻撃に備え鹿児島城を中心とし、領地内に113か所の外城（とじょう）を配置し、武士を分散して住まわせていた。知覧もその1つで、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、曲折ある通りに沿って連なる石垣と生垣や、国の「名勝」に指定された7つの庭園は、約270年前当時の感性を今に伝える。

- 受入期間：通年
- 受入時間：9:00～17:00
- 所要時間：30～60分
- 料金：大人530円・小・中学生320円
（団体30人以上：大人430円・小中学生250円）
- ☎ Tel.0993-58-7878 Fax.0993-58-7877 知覧武家屋敷庭園事務所（南九州市知覧町13731-1）

日本遺産
薩摩の武士が
生きた町



南さつま市



ばんせい

万世特攻平和祈念館

陸軍最後の特攻基地「万世飛行場」跡にあり、特攻隊員たちの手紙や遺品・遺影、吹上浜沖から引き揚げられた零式水上偵察機を展示。
残された品々は、時代を越えて今に語りかける。

- 南さつま市加世田高橋1955番地3
- 受入人数：80人（同時に）
- 受入期間：通年（12/31～1/1は休み）
- 対象：小・中・高校生
- 所要時間：ガイド付50分（ガイドは要予約）
- 開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
- 料金：大人310円・小中学生210円
（団体20人以上：大人260円・小中学生150円）
- ☎ Tel/Fax.0993-52-3979

自然体験

〈南さつま市〉 砂像制作体験



日本三大砂丘の一つである吹上浜の砂を活用し、白砂青松の自然あふれる中で砂像制作体験ができる。誰でも気軽に楽しみ、夢中になれる砂像の彫刻を体験しよう。

- 実施場所：南さつま市金峰町高橋3075-4
- 受入期間：6月～3月
- 受入人数：40人（1クラス）※相談可
- 体験時間：1時間※相談可
- 対象：小・中・高校生
- 料金：基本料金1万円＋1人：550円
- ☎ Tel.0993-53-3751 Fax.0993-53-3752
（一社）南さつま市観光協会

出水市

農家民泊体験と平和学習を組み合わせられる
ここでしかできない記憶に残る体験



いずみ

出水の平和学習プログラム

太平洋戦争時に海軍の特攻基地があった出水市には、掩体壕や地下戦闘指揮所などの戦争遺跡が残っており、これらを活用した平和学習プログラムがある。40人までのグループに分かれ、各グループにガイドがついての戦跡めぐりや、戦争体験者のお話を聞いたりすることができる。少人数のグループ討議によって体験をさらに深めるプログラムもある。

- 受入人数：160人まで
- 受入期間：通年
- 所要時間：1～3時間
- 受入時間：9:00～17:00
- 料金：バス1台につき2万円（税別）
- 対象：小・中・高校生・大学一般
※詳細はお問い合わせください。
- ☎ Tel.0996-79-3030 Fax.0996-79-3037
（一社）出水市観光特産品協会

グリーンツーリズム

〈出水市〉 農家民泊





平和学習

大隅半島の 平和学習プログラム

鹿屋市

曾於市

鹿屋市

海上自衛隊の航空史料館と
その周辺に数多く残る戦跡を巡る



かのや

鹿屋航空基地史料館

鹿屋から飛び立った特攻隊員の遺影や遺書などを展示する

太平洋戦争末期、旧海軍の鹿屋基地からは日本最大の908名の特攻隊員が飛び立ち、再び帰ることはなかった。鹿屋航空基地史料館では、復元された零戦や特攻隊に関する貴重な資料などを見学できる。

- 受入人数：要相談
 - 受入期間：12/29～1/3を除く（原則）
 - 所要時間：60分
 - 受入時間：9:00～17:00（原則）（入館は16:30まで）
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により掲載内容が変更される場合があるため、公式HP要確認。
 - 料金：無料 ■対象：小・中・高校生
- 鹿屋市西原3丁目11-2
TEL/Fax.0994-42-0233



世界に現存する唯一の二式大型飛行機



零式艦上戦闘機五二型

曾於市

芙蓉之塔

特攻に異議を唱えた特殊部隊について学ぶ

岩川飛行場からは夜間戦闘部隊が沖縄方面へ出撃した。この作戦は終戦まで展開し、百余名の戦死者をだした。芙蓉之塔は慰霊のために建立された。近くには、地下発電所跡（見学は要事前連絡）が残り、曾於市埋蔵文化財センターでは芙蓉部隊搭乗員の資料を展示している。

- TEL.099-482-5958（曾於市教育委員会社会教育課）
- TEL.099-471-2977（曾於市埋蔵文化財センター）



鹿屋の戦跡・平和学習

串良平和公園

海軍鹿屋基地から出撃し命を落とした特攻隊908名の御霊を祀る慰霊塔のある公園で平和セレモニーなどを行い、平和について考える。



桜花の碑

神雷部隊（特攻隊員）が別れの盃を交わした場所で、近くに神雷部隊の宿舎として使用していた旧野里国民学校跡がある。（国旗掲揚台 見学可）



掩体壕

航空機を空襲から護るコンクリート製のシェルター。当時はこの中に航空機を格納していた。



〈戦跡見学に関する問い合わせ先〉
（一社）鹿屋市観光協会
Tel.0994-41-7010

海軍の歴史を学ぶ

鹿屋航空基地史料館には、太平洋戦争だけでなく海軍に関する資料が多数展示されている。東郷平八郎、山本五十六といった海軍史を語るに欠かせない人物についても知ることができる。



日本海海戦の際にZ旗を掲げ「皇国の興廃この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ」と全軍の士気を鼓舞した東郷平八郎の文言。



地域ならではの学び

〈鹿屋市〉

高須のまち歩き

ガイドと一緒に歴史ある建造物や国鉄大隅線の線路跡を歩こう

高須には伝統的な祭り「おぎおんさあ」をはじめ数々の歴史的な文化を学べる場所が残っている。歴史ある建造物のほか、国鉄大隅線の線路跡を歩く事もできる。当時のトンネルを歩きながら元国鉄職員の話も聞ける。また、大河ドラマ「西郷どん」で注目を集める「西郷隆盛」もこの地を訪れ余暇を楽しんでいたとされている。郷土史に残るお話や当時の様子を知る方のお話を元に歴史や当時の様子をお話しながら高須町をご案内。

- 受入人数：最小3人（詳細はお問い合わせください） ■所要時間：30分コース、1時間コース（2コースあります）
- 料金：3名1グループ2,500円～（税込）（1名追加ごとにプラス300円） ■対象：小・中・高校生
- 大型バス2台分、一般車両20台程度 ■TEL.0994-41-7010 Fax.0994-41-6000（一社）鹿屋市観光協会



キス岩（西郷岩）



波之上神社

かのや平和学習プログラム

ガイドと共に戦争遺跡を見て歩き、戦争・平和について考える

戦時中に海軍の基地が置かれ、日本で最も多くの特攻隊員が飛び立った鹿屋市には、今もなお多くの貴重な戦跡が残っている。このプログラムは、平和学習ガイドと一緒にこれらの施設を巡り、現地で実際に行われた話を聞くことで、平和について学ぶことができる。小塚公園の慰霊塔前では、学校全体でのセレモニーを開催することもできる。

- 受入人数：最大受入人数 要相談 ■受入期間：通年
- 所要時間：2～3時間 ■受入時間：9:00～17:00
- 料金：ガイド1人あたり6,000円（1クラスにつきガイド1人乗車）
- 対象：小・中・高校生
- TEL.0994-41-7010 Fax.0994-41-6000
鹿屋市西原3丁目11-1（一社）鹿屋市観光協会



鹿児島県 戦跡MAP

- 航空基地
- 海軍基地
- 海軍攻撃拠点

出水戦跡巡り



万世特攻平和祈念館



知覧特攻平和会館



鹿屋航空基地史料館

記憶に残る平和学習

現地に立ち、 当時に想いを馳せる

特攻隊員たちの記憶を追体験する

県内の戦跡の中には、実際の建物が残っていたり建物が再現されていたりして、中に入ることができる場所もある。実際の場所でガイドの話を聞くことで、体験はより記憶に残るものとなる。



三角兵舎〈南九州市〉

特攻隊員たちが出撃するまでの起居していた半地下式の三角兵舎（復元）。隊員たちはこの中で日の丸に寄せ書きを書いたり、故郷へ送る遺書や手紙を書いたりしていた。



串良基地跡地下壕電信室跡〈鹿屋市〉

特攻隊員の最後の通信を受け取っていた場所で、突撃とともにぶつりと途切れる通信音の再現など、当時の様子を追体験することができる。

Question なぜ鹿児島には数多くの戦跡が残されているの？

A. 太平洋戦争中、東南アジア諸国に近い鹿児島には、旧日本軍の拠点として多くの飛行場が設けられていたから。

特に、鹿屋・知覧（南九州市）・万世（南さつま市）の3か所では、資料館を軸とした平和学習プログラムが組まれている。特攻隊員たちの遺書・手紙などの遺品や関係資料を閲覧し、実際の施設跡などを歩いて当時の状況を体感し、戦争とはどのようなものだったのか、これからの平和のために何ができるのか、実感を持って学ぶことができる。



南九州市

① 弾薬庫

飛行演習では飛行訓練を経て、射撃訓練も行われており、その射撃訓練用の機銃弾が収納されていた。



南九州市

② 油脂庫

練習機の潤滑油やグリースを保管した倉庫。米軍の空襲を受けた時の傷跡が壁面に今も荒々しく残っている。



南九州市

③ 給水塔

高台にあった飛行場に水を確保するために作られた高さ約13m、直径約6mの高架式のタンク。



南九州市

④ 掩体壕

馬蹄形の土塁に飛行機を格納し、機体を守る役割を果たしていた。



南さつま市

⑤ 水槽

飛行場の消火用の防火水槽。戦後70年以上となる現在も防火水槽として使用されている。



南さつま市

⑥ 営門

武装した衛兵が24時間立哨の任務についた飛行場への出入り口。沖縄戦に出撃・突入した若き隊員もここを通った。



鹿屋市

⑦ 串良平和公園

串良基地から出撃した隊員を祀る慰霊塔を挟む2本の直線道路は、当時の滑走路跡。



肝付町

⑧ 内之浦 海蔵要塞跡

本土決戦の第一候補に想定されていた志布志湾。海蔵地区には砲台及び、その観測所が構築されていた。※中への立ち入りは禁止。



南大隅町

⑨ 震洋滑走台跡

奄美大島の加計呂麻島などに設置された特攻艇震洋の基地は、佐多岬近くの間泊にも置かれ、海へと降ろす滑走台が残っている。

〈 戦跡見学に関する問い合わせ先 〉

問 南九州市商工観光課 Tel.0993-83-2511 (①～④)

問 (一社) 鹿屋市観光協会 Tel.0993-41-7010 (⑦)

問 万世特攻平和祈念館 Tel.0993-52-3979 (⑤・⑥)

問 肝付町観光協会 Tel.0994-67-2888 (⑧)